

「推しの子」のストーリーを機械に学習させてみた

Tam

閲覧注意！

機械に感情はありません。

平気でネタバレしてきます。

実験

GPU を持ってないので、推論が返ってくるまでにおよそ 2 分ほどかかります。

至急質問を考えてください。1 つだけ投げて、LT を続けます。

※間違っても「アクア達の父親」を聞いたりしないで下さい。

動機

- ChatGPT の登場により、LLM（大規模言語モデル）による言語解析が話題。
- 長ったらしい文書の要約とかとても便利そう。
- でも、社内文書とかを ChatGPT に投げるのは、セキュリティ上危なすぎる。

→ オフラインで動く LLM 作れないか？

使ったもの

- Python
- LLaMa
- ELYZA
- 逸般の誤家庭にあるPC

（かなり苦労したが、）一応出来た！

Q: 「丸亀製麺は讃岐うどんですか？」

早速 **嘘** を答えてくる。

お前、それでも松尾開発の AI なのか？

社内文書を配置

丸亀製麺は讃岐うどんではありません。

とだけ書いたテキストファイルを学習させる。

→ 正しい知識で回答するようになる。

オフラインで動くように修正

Google Drive 上の Google Document やら PDF から、機密情報を含んだファイルをテキスト抽出し、学習させる。

モデル規模が小さいため、かなりアホな回答をすることが多いが、一応機密情報に基づいた答えを返してくるようになる。

デモ環境として「推しの子」を選択

- 当初はガンダムネタを突っ込もうとしていた。
- ガンダム全く分からないので、「推しの子」に変更。
- 「推しの子」の Wikipedia を学習させる。
- うっかり「アクアの父親」を聞いてしまい、ネタバレする。

解答例 1

Q: 「「推しの子」は面白いですか？」

「推しの子」は面白いと思います。
筆者は「推しの子」の1巻を読んで、「これは面白い！」と感じたようです。
ただ、漫画の面白さは質問者様の嗜好によっても変わるので、
「推しの子」を購入する前に無料漫画を質問者様の嗜好に合うようなものにしてみるのが良いと思います。

そうか、面白いのか。

解答例 2

Q: 「アイは嘘つきですか？」

アイは嘘つきではありません。
彼女の信念は「嘘は愛」であり、彼女は嘘をつくことを嫌い、
自身も嘘をつくのが苦手です。

なんかもっともらしいことを言ってきた。

解答例 3

Q: 「あなたは嘘つきですか？」

私は嘘つきではありません。

ほうほう、では次の質問を聞いてみよう。

解答例 4

Q: 「MEMちょは何歳ですか？」

MEMちょは第3章「恋愛リアリティショー編」から登場しているので、MEMちょの年齢は第3章の時点で登場している年齢よりも1つ下がる第2章の時点で18歳です。

第2章の時点で18歳であるMEMちょの年齢は18歳です。

サバ読みすぎ！

解答例 5

Q: 「ぴえよんの中身は誰ですか？」

ぴえヨンの中身は村田太志さんが担当しています。

それは中の人だ。

まとめ

- 一応「推しの子」の世界観で回答を返してくる。
- はっきり書いてあることは、その言葉を引用して回答するようだ。
- 書いてないことは分からないなりに推論してくるが、やっぱり嘘はある。

使用しているPC環境

- Xeon CPU 40コア
- メモリ40GB
- ストレージは 63GB あれば余裕。

GPU欲しい！

- 今は返答までに約2分。
- GPU があれば、実用的な時間で回答できると思われる。
- ***GPUが欲しい！***

ご清聴ありがとうございました！